

1 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 長い航海を終えた。
- (2) 挨拶をする。
- (3) 新しい試み。
- (4) 本を大切に扱う。
- (5) ユミで矢を射る。
- (6) オモい荷物を持つ。
- (7) 調理師のシカクを取得する。
- (8) ハイケイに森を描く。

2 次の文中の傍線を付けたことが「我を忘れて、ある物事に熱中して」という意味になるように、にあてはまる漢字一字を、あとのア~ウから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

友人から借りた本が面白く、私は無我中で読んでしまった。

- ア 無
- イ 霧
- ウ 夢

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

アサガオのタネをそのままくと、発芽するまでに、長い日数がかかります。その理由は、アサガオのタネが、硬く厚い皮に包まれているためです。そこで、「タネが硬く厚い皮に覆われていることは、アサガオにとって、どんな利点があるのか」という「ふしぎ」が浮かびあがります。

① タネの大切な役割の一つは、暑さや寒さなどの都合の悪い環境を耐えしのごことです。硬く厚い皮は、暑さや寒さをしのぐのに役立ちます。そればかりでなく、ひどい乾燥を耐え抜くのに役立ちます。

タネの大切な役割は、都合の悪い環境を耐えしのごことだけではなく、自分では動きまわることのない植物たちが生育する場所を変えたり、生育地を広げ

2 タネの大切な役割とあるが、本文中で筆者は、どのようなことがタネの大切な役割であると述べているか。その内容についてまとめた次の文のaに入れるのに最も適しているひとつづきのことを、本文中から十三字で抜き出し、初めの六字を書きなさい。また、bに入る内容を、本文中のこたばを使って九字以上、十三字以内で書きなさい。

暑さや寒さなどのaことや、生育の場をbこと。

3 皮が硬く厚いことは、タネが発芽する「場所」を選ぶために大切であるが、本文中で筆者は、硬く厚い皮をもつタネはどのような場所を選んで発芽すると述べているか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 種皮をやわらかくしてしまっほどの水が存在せず、まわりに多くの微生物がいる場所

イ 発芽したあとに根を張りめぐらせるまで十分な量の水が存在し、まわりに多くの微生物がいる場所

ウ 種皮を分解する微生物がおらず、発芽したあとに根を張りめぐらせるまで十分な量の水が存在する場所

4 次の世代へ命をつないでいくための工夫とあるが、アサガオの、次の世代へ命をつないでいくための工夫について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、aは十一字、bは六字で抜き出すこと。

タネが硬く厚い皮をもつことで、aタネであっても、いろいろな場所で、何年にもわたってバラバラと発芽がおこるので、bを避けることができる。

たりすることです。そのために、動物に食べられても、胃や腸の中で消化されずに、糞といっしょに排泄されなければなりません。硬く厚い皮は、消化されにくいので、この点でも役に立ちます。

新しい生育の場を得たあと、皮が硬く厚いことは、タネが発芽する「場所」を選ぶために大切です。硬く厚い皮をもつタネが発芽するためには、硬く厚い皮をやわらかくするために多くの水がなければなりません。

それほど十分な量の水が存在する「場所」では、発芽したあとに根を張りめぐらせるまで、十分な水があることとなります。硬い皮をもつタネは、十分な水があることを確認して、発芽できるのです。

また、硬くて厚い種皮は、土壌に多くの微生物がいると分解されます。すると、水や空気がタネの中に入るので、発芽の準備がはじまります。まわりに多くの微生物がいるということは、水分があり、肥沃な土壌であることを意味します。ですから、発芽後の芽生えの成長に都合がいい場所なのです。

そのため、硬い種皮をもつタネは、同じ年に同じ株にできたタネであっても、そのあとに、どんな場所に移動するかによって、発芽する時期が異なってきます。それぞれのタネが発芽にふさわしい「場所」を得て、いろいろな場所で、何年にもわたってバラバラと発芽がおこります。

同じ年に同じ株にできたタネのすべてがいつせいに発芽してしまうと、その後すべてが枯れるような乾燥や寒さや暑さが突然に訪れ、全滅する危険性があります。また、人間に刈られたり枯らされたりすることもあります。動物に食べられてしまうこともあります。そのため、いろいろな場所で、何年にもわたりバラバラと発芽することは、全滅する危険を避けるのに役立ちます。

アサガオのタネが硬く厚い皮をもつことは、このように、次の世代へ命をつないでいくための工夫の一つなのです。

(田中修「植物はずこい 七不思議篇」による)

中央公論新社

1 <sup>A</sup>場とあるが、次のア~ウの傍線を付けたカタカナを漢字になおしたとき、「場」と部首が同じになるものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 果物の栽培イ。
- イ 問題をテイ起する。
- ウ カイ中電灯で照らす。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

惣じて物を買ふなら、その時と時に至つては高直な物じやよつて、焼炭は夏買へばやすし、晒などは冬かへば大ぶんだ直な。万事に気をつけて、春入るものは秋かへばやすし。冬入るものは夏かへば、何によらずやすし。<sup>③</sup>いやいやさふいやるな。此の中蠟燭を昼買ひにやつたけれど、夜買ふと同じねじやあつた。

(注) 晒 = 吸水性や通気性に富む綿や絹の布。 蠟燭 = ろうそく。

1 <sup>①</sup>高直な物とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 質の高い物
- イ 値段の高い物
- ウ 手に入りにくい物

2 買へばを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

3 <sup>③</sup>いやいやさふいやるなとあるが、本文において、このことばがどのようなことを表しているかということについて、次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適していることばをそれぞれあとから一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

a 何であっても安いというが、bので、そうとはいえないということ。

ア 事前に何を買うかを計画して買うこと

イ その物が必要となるときをはずして買うこと

ウ どのようなときにも売られている物を買うこと

b

ア 蠟燭を昼に買いに行ったが夜に買うのと同じ値段であった

イ 蠟燭を昼に買いに行ったが夜に買う方が値段が安かった

ウ 蠟燭を昼に買いに行ったが夜に買う方が値段が高かった

## 四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「時間」とは何でしょうか。このように問われたとしたら、皆さんはどうするでしょうか。腕を組み、あるいは顎に手を当てて、頭の中で「時間とは何か」とくりかえし唱えたところで先には進まないでしょう。このように「○○とは何か」という問いはあまりに抽象的で漠然とした大きな問いなので、この問いにいきなり向き合ってもすぐに回答することはおろか、回答の糸口さえつかめないものです。

③このようなときには、問いをより具体的な小さな問いへ置き換えて考えてみることに立つことがあります。ここで言う「小さな問い」とは、元々の「○○とは何か」という大きな問いに対して完全な回答を示すことを目指したものではありませんが、当のものがどのようなものであるかについて、ある具体的な切り口から迫っていくことによって、「当のものは少なくともこういうものである、あるいはこういうものではない」ということは言える「という回答を示すこと」によって、当のものの本質を部分的に明らかにすることを目指すような問いです。このような回答の糸口をつかむことによって、完全な回答へと徐々に迫っていくのではないかと期待されます。それゆえこれは、哲学的な問いについて考えるための有効な方法の一つだと考えられます。つまり、「○○とは何か」という問いに対する思考が漠然としてしまうのは、元々の問いが漠然としているからであって、より具体的な問いから始めることによって初めて、思考を一步一步着実に展開させていくことができるということになります。

④と言いつつ、以上の説明はそれ自体とても抽象的なものでしたので、具体的に「時間」についてはどのような小さな問いを設定できるのかを見ていきましょう。考える一つの手掛かりは、時間がしばしば空間内の直線で表現されるということです。理科や物理の教科書などにはよく、時間軸が横軸の直線で表されているようなグラフが出てきますね。直線というものは文字どおりには空間内に位置づけられるものですから、それ自体は時間ではありません。時間を

「○○とは何か」というような、 に対して、すぐに回答するところか  とい

3 次のうち、本文中の③に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア または イ なぜなら ウ だから エ しかし

4 ④時間が空間に類するものであるかどうかとあるが、この問いについて本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。 に入れる内容を、本文中のことは使って二十字以上、三十字以内で書きなさい。

時間が空間に類するものであるかどうか、という問いに答えるだけでは、時間の本質が何であるのかを  ことはできない。

5 次のうち、本文中の⑤に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 小さな問いから大きな問いを生み出す  
イ 大きな問いを小さな問いに置き換える  
ウ 時間を空間内の直線に喩える  
エ 時間に空間という対比物をあてがって具体化する

直線で表すというのはある種の比喩だと理解するべきでしょう。③、このように時間を直線で喩えるということは、時間が空間内の直線と同じような性質をもつ空間の類似物だということを意味するのでしょうか。私たちは、直線の比喩をどこまで文字どおりに理解してよいのでしょうか。

④以上のような問いがまさに、時間に関する小さな問いの一例です。時間が空間に類するものであるかどうか、この問いに答えるだけでは、時間の本質が何であるのかを完全に示したことはならないでしょう。しかし、少なくともこの問いに答えることによって、時間というものが空間に類するようなものなのかそうでないのかという点で、時間の本質を部分的に明らかにすることはできます。もちろんこの小さな問いは、それ自体でも十分に抽象的な問いだと言えるかもしれませんが。しかし、「時間」という主題に「空間」という対比物をあてがうことによって問いを具体化し、私たちに考える糸口を与えてくれていると言いうことはできるでしょう。⑤とは、たとえばこのようなことを指しているのです。

(金杉武司『哲学するってどんなこと?』による)

筑摩書房

1 本文中の①と②が同じ「ない」を含む一文を次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 雲一つない空。  
イ 二度もない機会だ。  
ウ 電車がなかなか来ない。  
エ 読書に飽きることはない。

五 新しいことに挑戦するときに、あなたが大切にしたいと考えることはどのようなことですか。次の条件1・2にしたがって、あなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。

条件1 新しいことに挑戦するときに、あなたが大切にしたいと考えることを簡潔に述べたうえで、なぜそのように考えたのかを、具体例や自分の体験を挙げながら説明すること。

条件2 百八十字以内で書くこと。

受験  
番号

番

得点

〈問題五を除く〉

二									
4		3	2		1				
b	a	ア イ ウ	b		a	ア イ ウ			
					生育の場を				
				13					
			こと。				9		

23	4	4	4	4	4	4	3	採点者記入欄

一									
2	1								
ア イ ウ	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
		ハイ	シ	オモ		扱	試	扱	航
		ケイ	カク	い	ユ			拶	海
					う	み			

18	2	2	2	2	2	2	2	2	2	採点者記入欄

四										
5	4				3	2		1		
ア イ ウ エ					時間の本質が何であるのかを	b	a	ア イ ウ エ		
		30								
		こと								
								20		

25	4	6	4	4	4	3	採点者記入欄

三				
3		2	1	
b	a		ア	
ア	ア		イ	ウ
イ	イ		ウ	
ウ	ウ			

12	3	3	3	3	採点者記入欄

